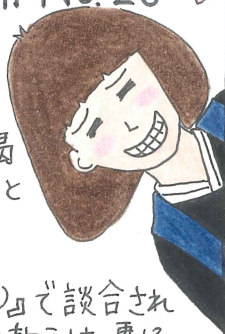


法親寺新聞

2017年 春彼岸号
手書き新聞 No.26

こんにちは。釋 紗音です。
本願寺第八代宗主 蓮如上人(れんにょしょうにん)は、皆様
ご存知の御文章をお書きになり、号号本尊の授与や正信心仏偈
に和讃を取り入れ、本願寺の基盤を築き、広めた「中興の永且」と
仰がれています。御文章は、大勢のご門徒の前で読まれたり、
版木を作って、印刷、発行されました。



親鸞聖人の「御同朋」「御同行」の精神にのっとり、『平座(ひらざ)』で談合され
るなど、蓮如上人の熱心で分かりやすい伝道により、浄土真宗の教えは、更に
多くの人々へ広がっていきました。
『白骨の御文章』には
朝(あさ)には糸(いと)顔(かほ)ありて、夕(ゆふ)には白骨(はくこつ)となれる身なり
(朝には元気な顔をしていた人も、夜には亡くなって白骨になってしまう様に)
私の命は、いつどうなるか 分からない身である。
たれの人もはやく後生の一大事を心に掛けて、阿弥陀仏を、ふかく
たのみまゐらせて、念仏申すべきものなり
(どなた様も、早くこの世の命が終わったあとの行き場所を聞かせて
いただき、阿弥陀様を頼りに、お念仏申させていただきましょう。)
とあります。

私達の命は、いつ終わるか分かりません。歳を取っているから先に亡くなり、若い
から後に亡くなると、決まてはいません。
だからこそ、生きている今、この世の命が終わった後の行き先を知ること、
残りの人生を安心して生きていくことができます。
そのことを蓮如上人は「後生の一大事」とお示しく下さいました。
阿弥陀様の本願を聞いて、感謝のお念仏を申す人生を送りましょう。

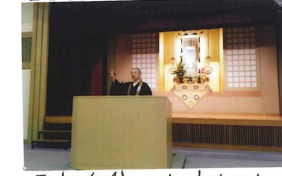
御正念報恩講法要を、通夜布教



16日はこんなに青空。でも雪がチラっきました。



今年の報恩講は雪空だ。



通夜布教には、夜中でも本願寺の前の道も真っ白!



本願寺の前の道も真っ白!

第25回 浄土真宗青年僧侶連絡協議会 全国大会



今を生きるヒントが沢山あったシンポジウムでした。



小林憲明氏の「デジタルオモイプロジェクト」



春も食欲旺盛、釋里蓮です。
今号でご紹介するのは、倉敷市
児島唐琴にあります「いはるうどん」
です。知物は「音を楽しめる天ぷら」
器からはみ出した、大きな天ぷらをお
出汁につけると「ジュワー」と、
軽やかで食欲をそそる音がするのです。
お出汁はあっさりで、心も体も温めて
くれます。是非足を運んでみてください。

釋里蓮の

コレがオススメ!!

Q...

浄土真宗の僧侶はなぜ有髪なのですか?

A...

自力修行に打ち込む僧侶にとって、
髪は、洗ったり、ヘアースタイルを気にしたり、
修行の妨けになるため、剃髪をして修行に専念
したといわれています。浄土真宗は、自分の行
いで仏様にならせていただくのではなく、
阿弥陀様に全てお任せするので、髪はもが
あるかないかは関係がないからです。
しかし、お帰度の時は、男性は全員剃髪し、
日頃から坊主のお坊さんでもあります。私達僧侶は
自分の力で誰かを救うのではなく、阿弥陀様
との取り次ぎをさせていただく身なのです。

お知らせ

春季永代経法座

- 日時●平成29年 4月22日(土) 午後1時～
- 場所●法親寺本堂
- 講師●山下 瑞円 師



講師はさわかイケメンの山下先生です。お楽しみに♡

※お車は、隣接駐車場、臨時駐車場及び、玉野高校馬場駐車場をご利用下さい。
(高梁市成羽町 淨福寺 本願寺派 布教使)